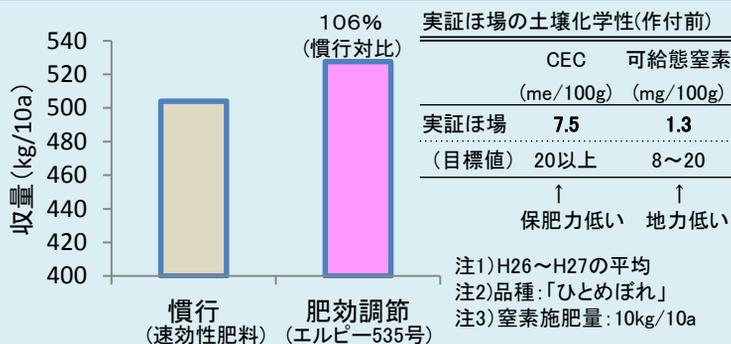


# 分散する小規模水田における省力・低コスト栽培技術

## 技術の概要

### 1 低地力水田での肥効調節型肥料の利用

地力や保肥力の低いほ場では、肥効調節型肥料を利用し増肥することで、速効性肥料の場合に比べ移植水稻の収量が向上



### 2 水稻鉄コーティング湛水直播栽培導入による省力・低コスト化

#### 鉄コーティング 直播栽培



鉄コーティング種子



直播機による点播  
点播では耐倒伏性が向上し生育が安定

播種(5月上~中旬)



動力散粒機による散播  
(小区画・不整形ほ場に適)

収穫(9月下旬~10月上旬)



全刈収量: 455kg/10a  
(平成28年産平均値1.9mm篩調製)  
(被災前地域平均収量420kg/10a)

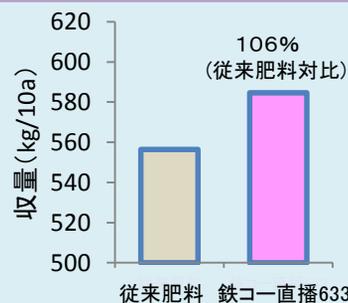
#### 直播適性の高い水稻品種を選択

熟期が早生~中生で、耐倒伏性に優れる品種を選択

例:「どんぴしゃり」「岩手122号」等

#### 水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適した全量基肥栽培用肥料(鉄コー直播633)の利用

従来の直播用肥料より、収量が向上



## 期待される効果

- 1 肥効調節型肥料の利用により、低地力水田での収量向上が見込めます。また、追肥作業を省略できます。
- 2 直播栽培の導入により、移植栽培に比べて生産費を22~24%削減  
(米60kg生産費、直播は沿岸地域の現地実証事例、移植は東北平均値)  
鉄コー直播633の利用により、肥料費を従来の直播用肥料に比べて14%程度削減

## 【お問い合わせ先】

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
(東北農業研究センター) TEL: 019-643-3540